山形大学
Yamagata University

学長定例記者会見要項

日　　時：　令和６年２月１日（木）　１１：００～１１：４５
場　　所：　法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

発表事項

1．山形大発のベンチャー企業（株）アルファテックの躍進～農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業に採択～
2．“大王”再び山形大学に現る！～後藤ひろひと氏による小中高校生向け樹脂粘土ワークショップを開催～
3．山形大学附属博物館が山形大生と地域の皆さんとともに集めた「まちの記憶」を一挙公開「ななはく！2024 ソーレ」を開催します！
4．「卒業・修了研究作品展 2024」を開催します
5．蔵王の「ワサ小屋（二代目）」と番人の「井上老婆」の写真が見つかりました～200 年間に渡る名称の変遷と継承の過程が解明されました～

お知らせ

1．山形大学オープンキャンパス 2024 の開催について
2．山形大学アグリフードシステム先端研究センター研究成果報告会＆農学部第２回研究シーズ説明会の開催について
3．山響メンバーによる「弦楽四重奏の夕べ」を開催します
4．「文系のためのビジネス統計入門」の開催について
5．やまがた夜話の開催について
6．山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

（参　考）
○ 次回の学長定例記者会見（予定）
日　時：令和６年３月７日（木）１１：００～１１：４５
場　所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

学長定例記者会見（２月１日）発表

１．山形大発のベンチャー企業（株）アルファテックの躍進～農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業に採択～

学術研究院（有機材料システム研究科担当）教授　西岡（にしおか）　昭博（あきひろ）

株式会社アルファテック取締役CTO　福井（ふくい）　勝（まさる）

２．“大王”再び山形大学に現る！～後藤ひろひと氏による小中高校生向け樹脂粘土ワークショップを開催～

山形大学地域共創STEAM教育推進センター協力教員／

学術研究院（人文社会科学部担当）准教授　小幡（おばた）　圭祐（けいすけ）

３．山形大学附属博物館が山形大生と地域の皆さんとともに集めた「まちの記憶」を一挙公開「ななはく！2024 ソーレ」を開催します！

学術研究院准教授（附属博物館学芸研究員）　佐藤（さとう）　琴（こと）

大学院有機材料システム研究科　博士前期課程１年　佐藤（さとう）　麗水（れいみ）

人文社会科学部人文社会科学科　３年　髙橋（たかはし）　怜華（れいか）

人文社会科学部人文社会科学科　１年　片桐（かたぎり）　悠輔（ゆうすけ）

４．「卒業・修了研究作品展 2024」を開催します

地域教育文化学部地域教育文化学科　４年　岡田（おかだ）　千瑛莉（ちえり）

地域教育文化学部地域教育文化学科　４年　黒田（くろだ）　美玖（みく）

大学院社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コース　２年　大泉（おおいずみ）　有理紗（ありさ）

５．蔵王の「ワサ小屋（二代目）」と番人の「井上老婆」の写真が見つかりました～200 年間に渡る名称の変遷と継承の過程が解明されました～

山形大学蔵王樹氷火山総合研究所 副所長　柳澤（やなぎさわ）　文孝（ふみたか）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月1日

山形大発ベンチャー企業（株）アルファテックの躍進

～農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業に採択～

【本件のポイント（概要）】

山形大学の西岡昭博教授（大学院有機材料システム研究科）により開発されたAmorfast®技術は、粉砕時の温度制御により澱粉を主成分とする穀物に付加価値を与える技術です。（株）アルファテックはAmorfast®技術を広く普及させ、研究成果の見える化を達成するために2018年6月に設立された山形大学発ベンチャー企業です。（株）アルファテックでは設立後からすぐにAmorfast®技術の最大の課題であった量産化に目処をつけるべく鋭意検討を重ね、昨年の2023年には量産化機のプロトタイプの開発に成功しました（右写真を参照）これが起点となり、昨年12月末に農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業（**以後、本事業**）に（株）アルファテックの事業計画が採択されました。本事業により本学との連携がさらに進展し、Amorfast®技術の応用研究の発展、実用化に向けて大きく前進することが期待できます。具体的には本事業の一部は（株）アルファテックから工学部（西岡研究室）および農学部への委託事業研究として進められます。なお、Amorfast®技術に関する研究は山形大学アグリフードシステム先端研究センター（略称：YAAS）の重点研究プロジェクトに位置づけられ、同センターの中心的な研究プロジェクトの一つに位置づけられています。

【背景（技術開発およびベンチャー企業設立の経緯】

山形大学工学部の西岡研究室では澱粉やセルロースを粉砕のみで瞬時にアルファ化（非晶化）できる技術（以後本技術）を世界に先駆け開発し、その応用展開に関する研究開発を行なっています。その応用範囲はグルテンフリー食品、機能性の家畜飼料からバイオマス燃料にまで及びます。本技術に関する研究は山形大学アグリフードシステム先端研究センター（略称：YAAS）の重点研究プロジェクト（代表者：工学部・西岡）として位置づけられています。YAASでは本技術から製造されるアルファ化米粉を「山大アルファ化米粉」と名付け、ブランディングを進めると同時に、料理家などとのコラボも計画しています。

また本技術を事業化することを目的に2018年6月に山形大学発ベンチャー企業（株）アルファテックを起業し、上記の技術にAmorfast® という商標を与え、技術の社会実装を見据え鋭意活動を行っています。山形大学の推薦により（株）アルファテックは東北では２社目となるJ-StartupTOHOKUのメンバーに選定されています。量産化へ向けて大型機の開発も進め、大型機のプロトタイプをYBSC（本学有機材料システム事業創出センター）内に設置することができ、本技術から得られるアルファ化米の大量生産にも目処が立ちました。このような流れの中で、今回の農林水産省の「中小企業イノベーション推進事業」の採択に至りました。

お問い合わせ

学術研究院 教授　西岡昭博（大学院 有機材料システム研究科）
TEL　0238-26-3207　　メール　nishioka@yz.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

株式会社　アルファテック
取締役　CTO　福井　勝
電話：０９０－９６８６－９１７１　メール：fukui@alpha-technology.jp

【成果】

農林水産省の「中小企業イノベーション推進事業」は、我が国における先端技術の社会実装の推進を図る目的で造成された基金を活用する事業です。この基金活用への公募に対し、（株）アルファテックが提案した事業「穀物新規需要創出・脱炭素を実現する非晶化技術の実証と製品化テスト」が採択されました。（応募件数 111 件中の採択数 25 件）なお（株）アルファテックへの交付限度額は約 6 億 5 千万円/5 年間です。

【今後の展望】

本事業の一部は（株）アルファテックから西岡研究室および YAAS への委託事業として実施されます。すでに山形大学内では YAAS がハブとなり、農-工の分野を超えた学際的研究基盤の構築が推進されてきています。YAAS では Amorfast®で製造した非晶性の米粉に対し「山大アルファ化米粉」というブランディングも行っており、本事業の推進により山形大学内の農-工連携がますます強化されます。

さらに山形大学発の Amorfast®の技術の実装が加速され、食糧問題、環境問題への解決に本技術が大きく貢献します。これらの取り組みは、まさに昨今の SDGs の推進事業に相応しいものであり、工学部発の技術を農学部との連携を経て地球規模のスケールで展開できる絶好の機会です。

【関連 Web サイト（参考）】

株式会社アルファテック　https://alpha-technology.jp
山形大学アグリフートシステム先端研究センター（YAAS）　https://yaas.jp
山形大学大学院有機材料システム研究科西岡研究室 http://nishioka-lab.yz.yamagata-u.ac.jp
山形大学認定先端フードテクノロジー研究グループ（AFTEC）　https://aftec.yz.yamagata-u.ac.jp
農林水産省中小企業イノベーション創出推進事業　https://sbir3.jataff.or.jp/index.html

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月1日

“大王”再び山形大学に現る！

～後藤ひろひと氏による小中高校生向け樹脂粘土ワークショップを開催～

【本件のポイント】

- 山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）では、冒険ねんど活劇「やめとけ！チキンマン」に登場する「オットセイ」のブロニー君のお友達を樹脂粘土で作る、小中高校生向けのワークショップを実施します。
- 山形大学小白川キャンパスの位置する山形市には、世にも珍しい「オットセイ」のブロニー君の墓があります。ブロニー君はサーカス団「世界一週有田洋行会」の一員で、昭和2年（1927年）に山形に来て神技を披露し、みんなに愛されました。今回は、その存在を広く知ってもらうために企画しました。
- 講師として、山形市出身の劇作家で、「やめとけ！チキンマン」の原作者として登場するキャラクターを自ら樹脂粘土で製作している“大王”こと後藤ひろひと氏をお招きします。山形大学附属博物館で昨年実施した企画展「「オットセイ」のブロニー君と後藤嘉一と後藤ひろひと」の特別企画「“王立ブロニー学会”創設記念シンポジウム」に登壇していただいて以来、2回目のご登場です。

【概要】

山形市の柏山寺（はくさんじ）には世にも珍しい「オットセイ」のブロニー君の墓があります。ブロニー君はサーカス団「世界一週有田洋行会」の一員で、1927 年（昭和 2）に山形に来て神技を披露し、みんなに愛されました。今回は、ブロニー君の存在を広く知ってもらうために、山形市出身で劇作家として活躍する“大王”後藤ひろひとさんを講師にお迎えし、後藤さんの作品『やめとけ！チキンマン』に登場するブロニー君のお友達を樹脂粘土で作るワークショップを開催します！

【開催要項】

・開催日程 ： 2024年3月2日（土）
・開催時間 ： 9:00-12:00（小学生の部） 13:30-16:30（中学生・高校生の部）
・場所 ： 山形大学 SCITA センター
・講師 ： 後藤ひろひと氏（吉本興業所属）
・対象 ： 午前＝小学生（親子同伴に限る） 午後＝中学生・高校生
・定員 ： 午前＝３０名 午後＝５０名
・料金 ： 1,000円（子ども1人につき）
・申込 ： 2024年2月22日（木）12:30まで、右の QR コードより受け付けます。

※用語解説

1．スチーム（STEAM）：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering(工学)、Art（芸術）、Mathematics（数学）の頭文字を取った教育概念。STEAM 分野を統合的に学び、実社会での問題発見・課題解決に活かしていくための分野横断的な教育です。

お問い合わせ ：山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター
TEL：023-628-4506（SCITA センター内）
メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学
Yamagata University

YU★STEAM

サーカスの「オットセイ」!?

ブロニー君のお友達を樹脂粘土で作ろう!

大王

山形市の柏山寺(はくさんじ)には世にも珍しい「オットセイ」のブロニー君の墓があります。ブロニー君はサーカス団「世界一週有田洋行会」の一員で、1927 年(昭和 2)に山形に来て神技を披露し、みんなに愛されました。今回は、ブロニー君の存在を広く知ってもらうために、山形市出身で劇作家として活躍する“大王”後藤ひろひとさんを講師にお迎えし、後藤さんの作品『やめとけ!チキンマン』に登場するブロニー君のお友達を樹脂粘土で作るワークショップを開催します!

- 開催日程 ： 2024 年 3 月 2 日(土)
- 開催時間 ： 9:00-12:00(小学生の部) 13:30-16:30(中学生・高校生の部)
- 場所 ： 山形大学 SCITA センター
- 講師 ： 後藤ひろひと氏(吉本興業所属)
- 対象 ： 午前=小学生(親子同伴に限る) 午後=中学生・高校生
- 定員 ： 午前=30名　午後=50名
- 料金 ： 1,000 円(子ども 1 人につき)
- 申込開始 ： 2024 年 1 月 15 日(月) 12:30
- 申込締切 ： 2024 年 2 月 22 日(木) 12:30

※定員になり次第受付を終了します。
※駐車場はございません。キャンパス内のコインパーキングをご利用ください。

申込はこちらから

山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター(YU★STEAM)
TEL:023-628-4506(平日 9 時~17 時) mail:yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp HP:https://yu-steam.com/

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月1日

山形大学附属博物館が山形大生と地域の皆さんとともに集めた「まちの記憶」を一挙公開

「ななはく！2024 ソーレ」を開催します！

山形五堰の一つ笹堰

ななはく！寄席に出演する宝笑亭熊水さん（山形落語愛好協会所属・山形大学大学院生）

【本件のポイント】

- 山形大学附属博物館は、2022年から「地域の記憶「共創」アーカイブ」事業をスタートさせました。その成果の公開と、「記憶」のさらなる収集・蓄積をすすめるためのイベント「ななはく！2024 ソーレ」を2月16～18日に七日町で実施します。今回のテーマは「山形五堰」です。
- 2023年3月に結成した学生サークル「まちの記憶を残し隊」が特別企画を実施します。
- 新装開店した十一屋本店２階をお借りして十一屋さんの歴史を振り返る展示を行うとともに「ななはく！寄席」や「まちの記憶を聞く会」を開催します。

【開催概要】（詳細はチラシをご確認ください・事前申込不要/参加無料）

第1会場：山形市中央公民館

展示「七日町の過去・現在・未来」（2月16日（金）～18日（日）10:00～16:00
会場：4階ギャラリー）

「まちの記憶を残し隊」が収集した、まちの風景や人びとのインタビューを一堂に公開します。

「まちの記憶を残し隊」企画（2月17日（土）10:00～16:00　会場：4階大会議室）

「残し隊」報告会　「残し隊」を語りたい～山大生の取り組み～

「まちの記憶を残し隊」による山大生の活動報告会です。蔵・町屋を推し隊による活動、嘉一ボックスの調査結果などをステージ発表します。

「残し隊」アイランド～それぞれの島で語りたい～

「まちの記憶を残し隊」による来場者参加型の報告会です。山形五堰、笹堰清掃、デジタルアーカイブなど、各ブースに分かれて報告・交流します。※詳しいタイムスケジュールは「ななはく！特設サイト」にて告知

けっぱつちゃんねる（2月16日（金）19:00～20:00　会場：4階大会議室）

ななはく！と山形アーカイブについて関心のある方にむけて紹介する公開生放送です。
※視聴URLは「ななはく！特設サイト」に掲載

山形アーカイブ

ななはく！特設サイト

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

第２会場：十一屋本店２階

展示「山形五堰と十一屋の過去・現在・未来」（2月16日（金）～18日（日）10:00～16:00）

「まちの記憶を残し隊」が山形五堰の歴史や魅力、会場である十一屋の歴史をご紹介します。

ななはく！寄席（2月18日（日）10:00～11:00）

さまざまなメディアで話題の現役大学院生落語家に、山形五堰にまつわる講談と落語を披露していただきます。

出演：宝笑亭熊水さん（山形落語愛好協会所属・山形大学大学院生）

演目：講談「時を流れる山形五堰」ほか

まちの記憶を聞く会（2月18日（日）13:30～14:30）

山形五堰の管理に長らく携わるとともに、博士号を取得し研究も行っているスペシャリストに、その歴史や魅力を語っていただきます。

話者：佐藤章夫さん

◆ボローニャ市（いち）

第1会場の山形市中央公民館4階ギャラリー、第2会場の十一屋本店2階をまわって、七日町の飲食店で食事をしてスタンプを集めるとボローニャ大学グッズもしくは山形大学グッズがもらえます。（先着100名様）

引換期間：２/16（土）～18（日）10～16時

引換場所：山形市中央公民館4階ギャラリー

【お問い合わせ】

山形アーカイブ実行委員会事務局　山形大学附属博物館　佐藤琴

電　話：023-628-4930

メール：nanahaku.yamagata@gmail.com

【主催等】

主催：山形アーカイブ実行委員会

共催：山形まちづくり株式会社・山形大学附属博物館

協力：合同会社AMANE・山形大学地域共創STEAM教育推進センター

助成：令和５年度文化庁Innovate MUSEUM事業

令和５年度山形大学校友会支援事業

令和５年度文部科学省「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」

お問い合わせ

学術研究院准教授　佐藤琴（附属博物館　学芸研究員）

TEL　023-628-4930　　メール　koto-s@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学附属博物館と山大生が組織する「まちの記憶を残し隊」が
まちの皆さんと一緒に収集した地域の「記憶」を一挙公開！

ななはく！2024 ソーレ
まちの記憶市（いち） vol. 4

2024 2/16 FRI ▸ 18 SUN

第1会場：山形市中央公民館/山形市七日町Ｉ-2-39（アズ七日町）
第2会場: 十一屋本店２階 /山形市七日町1-4-32

入場・参加無料

ななはく！の最新情報はこちらでチェック！

ななはく！特設サイト

今回のテーマは山形五堰!

「山形五堰」は2023年、世界かんがい施設遺産に登録されました

山形五堰については裏面をチェック！

第1会場 山形市中央公民館

展示「七日町の過去・現在・未来」
2月16日(金)～18日(日)10:00～16:00
会場：4階ギャラリー

「まちの記憶を残し隊」が収集した、まちの風景や人びとのインタビューを一堂に公開します。

「まちの記憶を残し隊」企画
2月17日(土)10:00～16:00
会場：4階大会議室

「残し隊」報告会「残し隊」を語りたい～山大生の取り組み～
「まちの記憶を残し隊」による山大生の活動報告会です。蔵・町屋を推し隊による活動、嘉一ボックスの調査結果などをステージ発表します。

「残し隊」アイランド～それぞれの島で語りたい～
「まちの記憶を残し隊」による来場者参加型の報告会です。山形五堰、笹堰清掃、デジタルアーカイブなど、各ブースに分かれて報告・交流します。
※「残し隊」企画の詳しいタイムスケジュールはななはく!特設サイトにて告知します。

けっぱつちゃんねる
2月16日(金)19:00～20:00
ななはく!と山形アーカイブについて関心のある方にむけて紹介する公開生放送です。(視聴URLはななはく!特設サイトに記載)

山形アーカイブ：

第2会場 十一屋本店2階

展示「山形五堰と十一屋の過去・現在・未来」
2月16日(金)～18日(日)10:00～16:00

「まちの記憶を残し隊」が山形五堰の歴史や魅力、会場である十一屋の歴史をご紹介します。

ななはく！寄席
2月18日(日)10:00～11:00

さまざまなメディアで話題の現役大学院生落語家に、山形五堰にまつわる講談と落語を披露していただきます。

出演：宝笑亭熊水さん
（山形落語愛好協会所属・山形大学大学院生）
演目：講談「時を流れる山形五堰」ほか

まちの記憶を聞く会
2月18日(日)13:30～14:30

山形五堰の管理に長らく携わるとともに、博士号を取得し研究も行っているスペシャリストに、その歴史や魅力を語っていただきます。
話者：佐藤章夫さん

お問い合せ: 山形アーカイブ実行委員会 nanahaku.yamagata@gmail.com

主 催：山形アーカイブ実行委員会　共 催：山形まちづくり株式会社・山形大学附属博物館
協 力：合同会社 AMANE・山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター
助 成: 令和5年度文化庁InnovateMUSEUM事業
令和5年度山形大学校友会支援事業
令和5年度文部科学省「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」

山形五堰とは?

山形五堰は 山形市内を流れる笹堰・御殿堰・八ヶ郷堰・宮町堰・双月堰の五つの堰（農業用水路）の総称です。江戸時代の 1624 年（寛永元）に、山形藩主・鳥居忠政が整備したと伝えられ、今年で誕生から 400 年を迎えます。2023 年 11 月 4 日には世界かんがい施設遺産にも登録されました。
山形大学の学生サークル「まちの記憶を残し隊」は小白川キャンパスの周囲を流れる笹堰の清掃活動を行っているほか、その存在を広く知ってもらうためにパンフレットを執筆しました。また、山形アーカイブ実行委員会と協力してまちあるきマップを、地元の小学生と協力してゆるキャラを作成しました。

パンフレット

まちあるきマップ

ITALIA
Bologna Fair
Stamp Rally

同時開催

山形大学附属博物館が交流協定を締結している

イタリア ボローニャ市（いち） スタンプラリー

「ななはく！」2 つのメイン会場と七日町の飲食店 1 店、合計 3 つのスタンプを集めると先着 100 名様にもれなくイタリア・ボローニャ大学グッズ（文房具や T シャツなど）をプレゼント！山形大学グッズもあります！

参加飲食店：フラム、タリーズコーヒー、庄司屋、いつもの場所、Classic Café LiFE、嘉ちゃん、パーキングカフェ

景品引換所：山形市中央公民館4階ギャラリー

景品引換期間：2月16日(金)～18日(日)10時～16時

The network of Museums and Collections of the University of Bologna

X

Yamagata University Museum

STAMP 第１会場 中央公民館

STAMP 第2会場 十一屋 本店2階

STAMP 飲食店

※飲食ご利用の方へスタンプ押印

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月1日

「卒業・修了研究作品展2024」を開催します

【本件のポイント】

- 美術系ゼミ所属の学部4年生２名と大学院2年生２名による卒業・修了研究作品展2024を開催。
- 今年度のポスターは、出展者４名をキャラクター化し、一人ひとりの個性が輝くデザイン。黒田美玖さん(地域教育文化学部4年生)が制作。
- 東根市公益文化施設まなびあテラスを会場に開催、ご来場の皆様に美術の面白さを感じてもらえるような卒業・修了研究作品展。

【概要】

山形大学地域教育文化学部文化創生コース及び大学院社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コースでは、東根市公益文化施設まなびあテラスにて「卒業・修了研究作品展 2024」を下記日程で開催する運びとなりました。当展覧会では、美術系ゼミ所属の学部４年生２名と大学院２年生２名が、卒業・修了研究として制作した作品を展示いたします。テンペラ技法を用いた絵画作品、モリカズ様式を参考とした絵画作品、グラフィックアート、槇島箒とその周辺を主題としたアート作品など約 40 点展示いたします。2 月 17 日（土）には出展者が作品制作の意図を解説するギャラリートークを開催予定です。学生生活の中で培った知識や技術、経験を活かした学びの集大成といえる作品展になっております。作品に表れたそれぞれの個性を感じ取っていただければ幸いです。

【卒業研究作品展 開催情報】
日時：2024 年 2 月 10 日（土）～19 日（月）9:00~17:00　※2 月 13 日は休館
　　ギャラリートーク　2 月 17 日（土）13:30～
場所：東根市公益文化施設　まなびあテラス　市民ギャラリー
　　〒999-3730 山形県東根市中央南一丁目 7-3

Twitter：@yamadai_sotuten
Instagram：@yamadai_sotuten

入場無料となっております。

お問い合わせ
山形大学　地域教育文化学部文化創生コース
山形大学大学院　社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コース
山形大学卒業・修了研究作品展 2024 実行委員会
メール：sotuten2023@gmail.com

Yamagata University

山形大学卒展 2024

地域教育文化学部地域教育文化学科
文化創生コース卒業研究作品展

大学院社会文化創造研究科
芸術・スポーツ科学コース修了研究作品展

〒999-3730 山形県東根市中央南一丁目 7-3
東根市公益文化施設
まなびあテラス　市民ギャラリー

2/10(土) - 2/19(月)　※2/13(火) 休館
9:00 - 17:00　2/17(土) 13:30- ギャラリートーク開催

入場無料

※お祝いのお花は会場の都合でご遠慮いただいております
※まなびあテラスの感染症対策にご協力をお願いいたします

【主催】
山形大学地域教育文化学部文化創生コース
山形大学大学院社会文化創造研科芸術・スポーツ科学コース
山形大学卒業・修了研究作品展 2024 実行委員会
【お問い合わせ】
ymgt2024@gmail.com

x　Instagram

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和６年（2024 年）２月１日

蔵王の「ワサ小屋（二代目）」と番人の「井上老婆」の写真が見つかりました
～200 年間に渡る名称の変遷と継承の過程が解明されました～

【本件のポイント】

●蔵王山の地蔵岳と熊野岳の鞍部にあった「ワサ小屋（二代目）」およびワサ小屋（二代目）の二人目の番人だった「井上老婆」の写真と資料が見つかった。

●江戸時代、宝沢口と高湯口の法印によって２つの「笹小屋」が作られ、入山料が徴収されていた。明治時代になると「ワサ小屋」とよばれた。

●大正７年の遭難事故に伴い、石でできた避難小屋が作られ「ワサ小屋・ワシ小屋・和七小屋・和三小屋」とよばれた。「笹小屋」は熊野岳山頂に移設された。

●戦時中は廃屋となり、昭和 26 頃に「ワサ小屋跡」となった。平成 23 年に「老婆おわさが山小屋の番をしており参拝者の面倒をみていた」との説明板が作られた。

地蔵岳からワサ小屋を望む

【概要】

蔵王山の地蔵岳と熊野岳の鞍部に「ワサ小屋跡」がある。「ワサ小屋（二代目）」と二代目のワサ小屋の二人目の番人だった「井上老婆」の写真が見つかった。また、新発見の資料から「ワサ小屋」について 200 年間に渡る名称の変遷と継承の過程が明らかになった。

江戸時代に宝沢口と高湯口の法印によって作られた２つの「笹小屋」は、明治時代になると放置され「ワサ小屋」とよばれた。大正７年の宮城第二中学校遭難事故に伴い、石でできた避難小屋が作られ、「ワサ・ワシ・和七・和三小屋」とよばれるようになった。江戸時代に作られた「笹小屋」は熊野岳山頂に移設された。戦時中は廃屋となり、昭和 26 頃に「ワサ小屋跡」となった。平成 23 年に「老婆おわさが山小屋の番をしており参拝者の面倒をみていた」との説明板が作られた。

【これまでの経緯】

蔵王山の地蔵岳と熊野岳の鞍部にある説明板には「その山頂に至る登山道、神社への奉拝道で最後の上り口にあたるこの場所は“ワサ小屋跡”と呼ばれ、おワサさんという老婆がここにあった山小屋の番をしており、参拝者の面倒をみていたといわれています。・・・ひと頃は参拝者に対してここで水を提供していたといいます。」と記されています。かつてワサ小屋は避難小屋として蔵王山の研究者や登山者にとって重要なところでしたが、残されている資料は多くありませんでした。今回「ワサ小屋（二代目）」およびワサ小屋（二代目）の二人目の番人であった「井上老婆」の写真が見つかりました。また、新発見の資料から「ワサ小屋」に関する 200 年間に渡る名称の変遷と継承過程が明らかになりました。

【各時代における名称の変遷】

●江戸時代

修験者（山伏）と一般人の中間の立場の者を法印（里山伏・百姓山伏）と言います。「古文書より見た蔵王山（蔵王山調査報告書　山形県上山教育委員会編）」によりますと、江戸時代中期まで蔵王の山で修行に励んだ山伏は、江戸時代の終わり頃になると山麓や城下町に住みついて里山伏（法印さま）となりました。蔵王に参詣する場合、遠刈田口（嶽ノ坊）、上山口・中川口（安楽院）、宝沢口（三乗院）、半郷口・高湯口（松尾院）の四つ登山口があり、おのおの法印（寺）が管理していました。一方、庶民の信仰は商売繁盛を望む現世利益へと変化し、御山参りが急増しました。

（お問合せ先）
山形大学蔵王樹氷火山総合研究会　副会長
山形大学名誉教授　柳澤文孝（環境科学）
メイル　icemonster.white(at)gmail.com

蔵王周辺には笹小屋（現在の海の家のような仮設小屋、集金・案内・救護・物販等に使用）が作られており、お地蔵さん前の笹小屋では法印によって入山料が徴収されていました。文化10年（1813年）姥神まで新道が作られたことから笹小屋は姥神前に移動しました。姥神前には宝沢口と高湯口の2つの小屋が作られ、双方から法印が出てお山案内の利権をめぐって争いを起こしていました（蔵王山今昔温泉記）。「蔵王山裏口別当訴訟文書」には「地蔵前笹小屋詣之者行人数改受、尚松尾院方も人数村所迄明細手帳へ書記置御山役銭として壱人四十八銅宛割を以都合致送書相添拙院方へ差送・・・文化十年度御山姥神前迄新道開候に付地蔵前笹小屋に而行人数可改様無之則姥神前江笹小屋相移候処四ケ村中之者及不法強勢右笹小屋等焼拂（はらい）候に付領主役所へ及訴訟候」と記載されています。両者の対立は激しく、笹小屋（半郷）が焼かれることもありましたが、争いは寛永5年（1852年）頃に収束しました。

●江戸時代から明治時代へ

明治元年（1868年）3月に神仏判然令（神仏分離令）、明治5年9月に修験宗廃止が出され、山伏や修験行者は神職となるか、寺僧になるか、農民になるかせまられました。「蔵王山の修験道（月光善弘）」によりますと、宝沢口の三乗院は明治8年（1875年）の内務省「古社寺に関する取調」に対し「当山別当系統、戸手　井上光永」と返答しています。一方、高湯口の松尾院は金峯姓を称し半郷の刈田嶺神社の神職となりました。

●明治時代

修験宗廃止に伴い笹小屋は管理されなくなって荒廃し、明治半ば頃には小屋自体の存在意義も忘れられ、山麓に勝手に小屋を作って入山料を徴収する者も現れました。笹小屋は、壊れた小屋、ワサ小屋と呼ばれるようになりました。

●大正7年10月23日

大正7年宮城県仙台第二中学校の遭難事故が起こりました。宮城県仙台第二中学校學友会が発行した「學友会雑誌登山記念号」には「熊野岳を下る事約十町。俗称ワサ小屋を過ぎし處に於て小休憩し・・・更に一里近く行くと、ワサ小屋に着きました。此處から案内人が帰ってしまいましたが、数町行って、ワサ小屋といふ石室に行くと、その前に案内者は糸経をまとひ煙草を吸うて居た。」と記載されています。

●大正8年ころ

宮城県仙台第二中学校の遭難がきっかけで、石でできた避難小屋が作られました。

伊東五郎氏の「蔵王五十年の歩み」には「蔵王山1700米の箇所、宝沢口と高湯口の合する所に石室がある。ワサ小屋といっている。・・・昔は高湯から堀清太郎ぢいさんが登っていた。夏になると石室に板で小屋を掛け、大きな鏡を下げて濃霧の時には方向を知らすため打ち鳴らしていた。全くの助小屋だったのである。」としています。また、伊東久一氏の「蔵王山今昔温泉記」では「わさ小屋に着く、此処には四方石で囲まれたお室（むろ）があり、二、三十人はお籠り出来る。・・・此処には今の堀久のお爺さんが一生涯勤められた。・・・お祓いを受けたり、食事をしたり、又天候が荒れて行動が出来ぬ時は、泊って翌日の行動を待つ場合もあった。」と記しています。

●大正10年ころ

江戸時代に作られていた笹小屋について、伊東久一氏の「蔵王山今昔温泉記」は「此処を出て熊野山に向かう、此処に又、宝沢口のお室と、高湯側のお室があって、昔は双方から法印が出ていて、争いを起こし高湯分は焼かれて久しく室は空になっていた。・・・大正になって宝沢との折り合いがつき、高湯分の方に宮を遷座し、現在の熊野山頂上にお遷ししたものである。」と記されており、大正10年頃には新旧合わせて3つの小屋があったことがわかります。

●大正末から昭和15年ころ

伊東五郎氏の「蔵王五十年の歩み」によりますと「ぢいさんは晩年ここで病死してしまって、代りに宝沢から老婆一人が登って番をしていた。中でオヂ飴と言ってキナ粉（大豆の粉）を飴でかためた四角い菓子を売っていた。赤麩汁と水も売って居た。水がないので下の沢底から雪解け水を汲み上げるので値も高かったが、喉をうるほすには仕方なかった。」としています。

また、「蔵王の樹氷　（蔵王の碑建設協賛者）」には、「熊野岳と地蔵岳との鞍部は高湯から登る祓川道と、宝沢から登る道との合点にワサ小屋と呼ばれる助小屋があった。・・・助小屋は当時登山者の遭難救助の役目をして、登山者から道刈銭として5銭づつ徴集したので批判の声もあったが、宝沢の法印井上老婆の世話になったことを感謝している。小屋前の広場はいつも登山者の休み場となっていた。」とあります。

一方、安齋徹氏による「神秘の火山湖　蔵王の御釜」には「ワサ小屋は昔から名に知られている助小屋で、登山者はこの小屋のあるためにどんなに助かったことであろうか。・・・ワサ小屋には小屋守りの老婆が一人で小屋番をして居たが、小屋の前に立てられた姥の石像と間違えられそうなばんちゃんであった。遠い昔から、宝沢の法印様をつとめている家系なのだそうである。六月の暮に小屋をかけ、九月の末に小屋をたたむのであるが、其間はいつも老婆

の姿を見ることが出来た。登山者の誰にも親しまれ、ワサ小屋のばんちゃんを知らない登山者は少なかったようである。」としています。

●戦中・戦後
戦時中ワサ小屋は管理者不在のため廃屋となりました。昭和 26 年の地図には「ワサ小屋跡」と記載されています。昭和 30 年代について、蜂屋眼鏡店店主の蜂屋孝司さんは「宝沢の宮司の宝崎くんの家に泊めてもらいながら、ワサ小屋跡まで通い、熊野岳下にある祠から滴り落ちてくる水を汲んで 10 円で売っていた。」とお話されました。

●平成 23 年（2011 年）5 月 24 日
「ワサ小屋跡」に説明板が作られており「その山頂に至る登山道、神社への奉拝道で最後の上り口にあたるこの場所は“ワサ小屋跡”と呼ばれ、おワサさんという老婆がここにあった山小屋の番をしており、参拝者の面倒をみていたといわれています。・・・ひと頃は参拝者に対してここで水を提供していたといいます。」と記載されています。

【小屋の名称の変遷と継承】

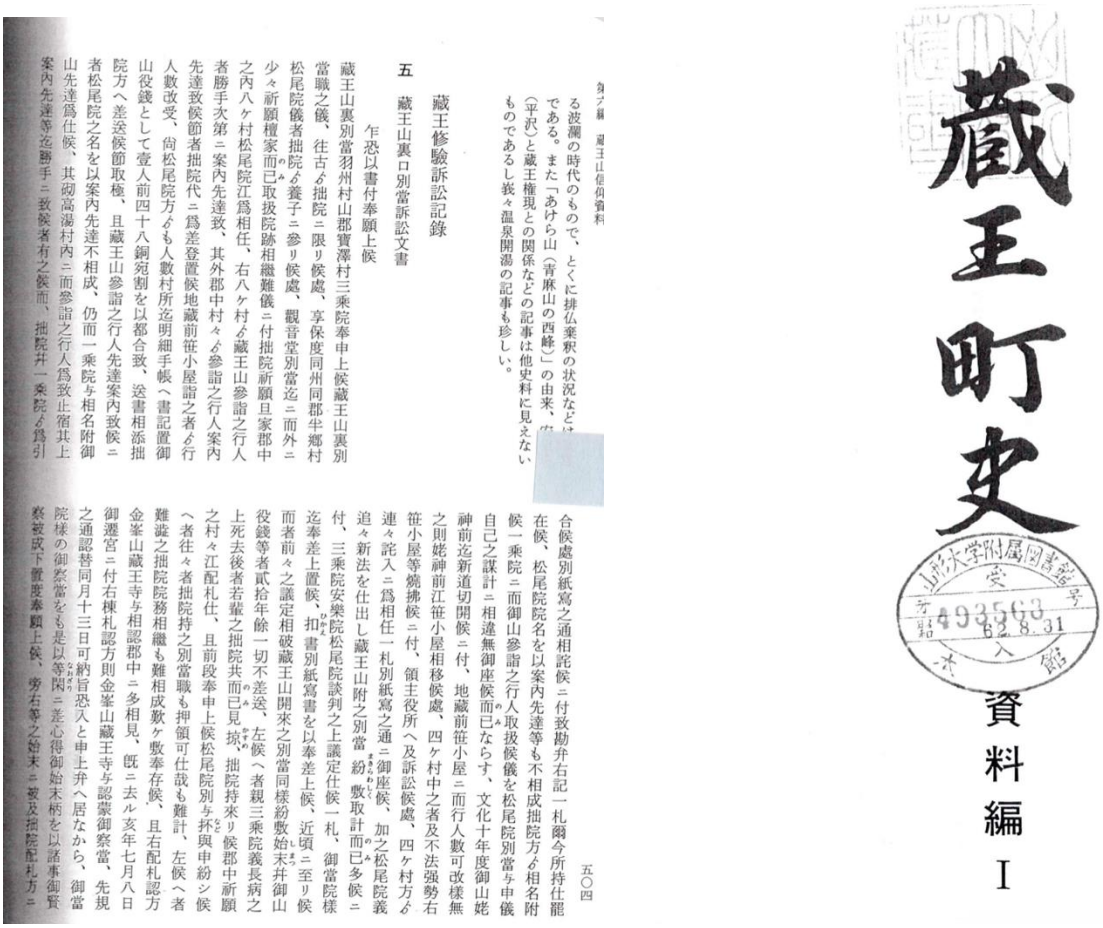
江戸時代に地蔵岳と熊野岳の鞍部に作られた２つの「笹小屋」は、明治末頃に「ワサ小屋」「ワシ小屋」と呼ばれるようになりました。「ワサ小屋」「ワシ小屋」の名称は大正 8 年頃に作られた石でできた避難小屋に継承されました。伊東五郎氏は「蔵王五十年の歩み」の中で「名はワシ小屋かワサ小屋か二通りある。昔宝沢の和七と言う者が、ここにいたから其の名をとって和七小屋と呼び、訛ってワサ小屋になったものだと言い、又熊の岳のあの断崖が、ワシ鳥が巣くう意で、其の下にある小屋だからワシ小屋となったともいっている。」としています。石小屋は戦中に廃屋、昭和 26 年頃にワサ小屋跡なり、平成 23 年には「おワサさん」の説明板が作られました。明治と戦後という 50 年近い２つの空白期間が小屋の名称や存在意義の継承を妨げたと考えられます。
なお、昭和 13 年には「和三小屋と書かれた石小屋で夏季は番人が常駐する（山と溪谷　52 巻　翠の藏王越え / 岩崎京二郎）」と記されていることから、最終的な名称は「和三小屋」とも考えられます。

表１　小屋の名称の変遷と、初代（笹小屋）から二代目（石小屋）の小屋への名称の継承

和暦	西暦	笹小屋（宝沢）	笹小屋（半郷・高湯）	石小屋	跡
享保年間	1716－1736年	お地蔵さん前に笹小屋			
文化10年頃	1813年	新道開設により笹小屋を姥神前に移動し、宝沢と半郷・高湯の笹小屋が並立			
文化10年以後	1813年以後	宝沢と半郷・高湯の法印間で争いが激化し、笹小屋（半郷・高湯）焼かれる			
寛永5年頃	1852年頃	争いが収束			
明治元年	1868年	三乗院は井上家に	松尾院は金峯家に（刈田嶺神社）		
明治半ば	1900年頃	修験者廃止により管理されなくなって荒廃し、存在の意味や意義が薄れる			
明治末頃	1910年頃	壊れた小屋・ワサ小屋			
大正7年	1918年	宮城県仙台第二中学校の遭難（ワサ小屋・俗称ワサ小屋）			
大正8年頃	1919年頃			石小屋新築（ワサ・ワシ小屋）堀清太郎	
大正10年頃	1921年頃	高湯分の方に宮を遷座し、熊野山頂上にお遷し			
大正末頃	1925年頃			ワサ・ワシ・和七小屋　井上老婆	
昭和10年頃	1935年頃			和三小屋　井上老婆	
戦中・戦後	1945年前後			廃屋	
昭和26年頃	1951年頃				ワサ小屋跡
昭和30年代	1955年頃				水を販売
平成23年	2011年				おワサさん

（注）江戸時代、「表層雪崩」は「ワシ」などとよばれていました（和泉薫・錦仁　日本雪氷学会誌　2002）。一方、山形では戦後しばらくまで「表層雪崩」を「ワシ」とよんでいました（山ことば辞典　岩科小一郎、雪のことば辞典　稲雄次）。「雪崩」を「ワシ」とよぶことについて、柳田国男は「山村語彙」の中で「東北では一般に、崖の上の雪の滑り飛ぶことである。・・・早く飛ぶ故に鷲かとの説もあるが、多分もとは地形から出た言語で、ワシユキ又はワシナデの略であらう。」としています。なお、季語として「鷲（ワシ）」は冬、「雪崩（ワシ）」は春です。
さて、熊野岳と地蔵岳の鞍部にあるワサ小屋付近は両岳からの雪崩の集積地になります。春になって参詣の道や小屋を開くには雪を除く必要があります。「ワシ」は「雪崩」と「鷲」の両者の意を表わしていた可能性も考えられます。

図１　ワサ小屋跡・姥神（Google Map）



蔵王山信仰資料

る波瀾の時代のもので、とくに排仏棄釈の状況などは
である。また「あけら山（青麻山の西峰）」の由来、
（平沢）と蔵王権現との関係などの記事は他史料に見えない
ものであるし裁々温泉開湯の記事も珍しい。

藏王修驗訴訟記錄

五　藏王山裏口別當訴訟文書

乍恐以書付奉願上候

藏王山裏別當羽州村山郡寶澤村三乘院奉申上候藏王山裏別
當職之儀、往古ゟ拙院ニ限リ候處、享保度同州同郡半郷村
松尾院儀者拙院ゟ養子ニ參リ候處、觀音堂別當迄ニ而外ニ
少々祈願檀家而已取扱院跡相繼難儀ニ付拙院祈願旦家郡中
之内八ケ村松尾院江爲相任、右八ケ村ゟ藏王山參詣之行人
者勝手次第ニ案内先達致、其外郡中村々ゟ參詣之行人案内
先達致候節者拙院代ニ爲差登置候地藏前笹小屋詣之者ゟ行
人數改受、尚松尾院方ゟも人數村所迄明細手帳へ書記置御
山役錢として壹人前四十八銅宛割を以都合致、送書相添拙
院方へ差送候節取極、且藏王山參詣之行人先達案内致候ニ
者松尾院之名を以案内先達不相成、仍而一乘院与相名附御
山先達爲仕候、其砌高湯村内ニ而參詣之行人爲致止宿其上
案内先達等迄勝手ニ致候者有之候而、拙院并一乘院ゟ爲引

五〇四

合候處別紙寫之通相詫候ニ付致勘弁右記一札爾今所持仕罷
在候、松尾院名を以案内先達等も不相成拙院方ゟ相名附
候一乘院ニ而御山參詣之行人取扱候儀を松尾院別當与申儀
自己之謀計ニ相違無御座候而已ならす、文化十年度御山姥
神前迄新道切開候ニ付、地藏前笹小屋ニ而行人數可改樣無
之則姥神前江笹小屋相移候處、四ケ村中之者及不法强勢右
笹小屋等燒拂候ニ付、領主役所へ及訴訟候處、四ケ村方ゟ
連々詫入ニ爲相任一札別紙寫之通ニ御座候、加之松尾院義
追々新法を仕出し藏王山附之別當紛敷取計而已多候ニ
付、三乘院安樂院松尾院談判之上議定仕候一札、御當院樣
迄奉差上置候、扣書別紙寫書を以奉差上候、近頃ニ至リ候
而者前々之議定相破藏王山開來之別當同樣紛敷始末并御山
役錢等者貳拾年餘一切不差送、左候へ者親三乘院義長病之
上死去後者若輩之拙院共而已見埒、拙院持來リ候郡中祈願
之村々江配札仕、且前段奉申上候松尾院別与抔與申紛シ候
へ者往々者拙院持之別當職も押領可仕哉も難計、左候へ者
難澁之拙院院務相繼も難相成敷ケ敷奉存候、且右配札認方
金峯山藏王寺与相認郡中ニ多相見、既ニ去ル亥年七月八日
御遷宮ニ付右棟札認方則金峯山藏王寺与認蒙御察當、先規
之通認替同月十三日可納旨恐入と申上并へ居なから、御當
院樣の御察當をも是以等閑ニ差心得御始末柄を以諸事御賢
察被成下置度奉願上候、旁右等之始末ニ被及拙院配札方ニ

藏王町史
資料編Ⅰ
山形大学附属図書館
受入
493563
62.8.31

図２　「蔵王山裏口別当訴訟文書」　蔵王町町史　資料編１（昭和 62 年）

図３　蔵王山エハガキ（蔵王高湯温泉）　熊野嶽・わさ小屋附近　（昭和５年ころ）

図４　蔵王風景　地蔵岳よりワサ小屋をへて白霧におほわれつつある熊野嶽を望む　（昭和 10 年ころ）

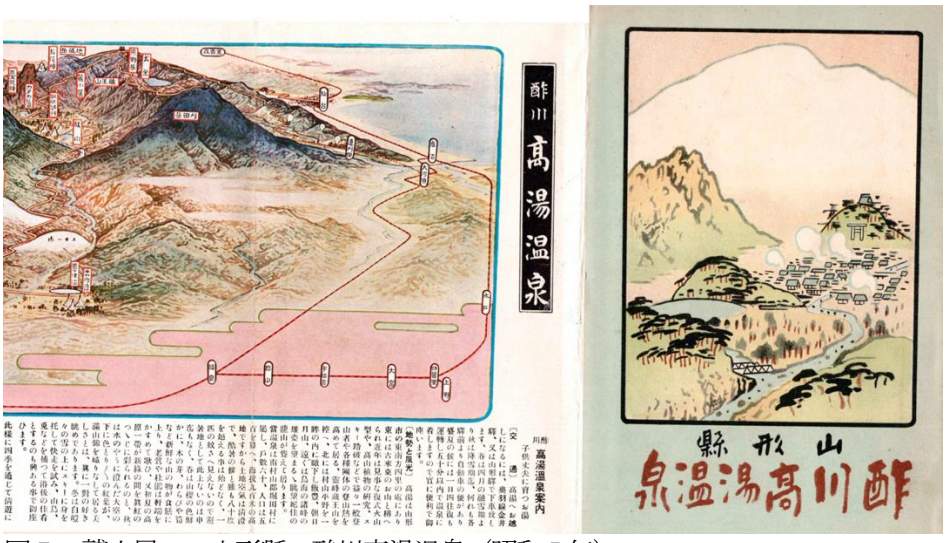


図５　鷲小屋　　山形懸　酸川高湯温泉（昭和５年）

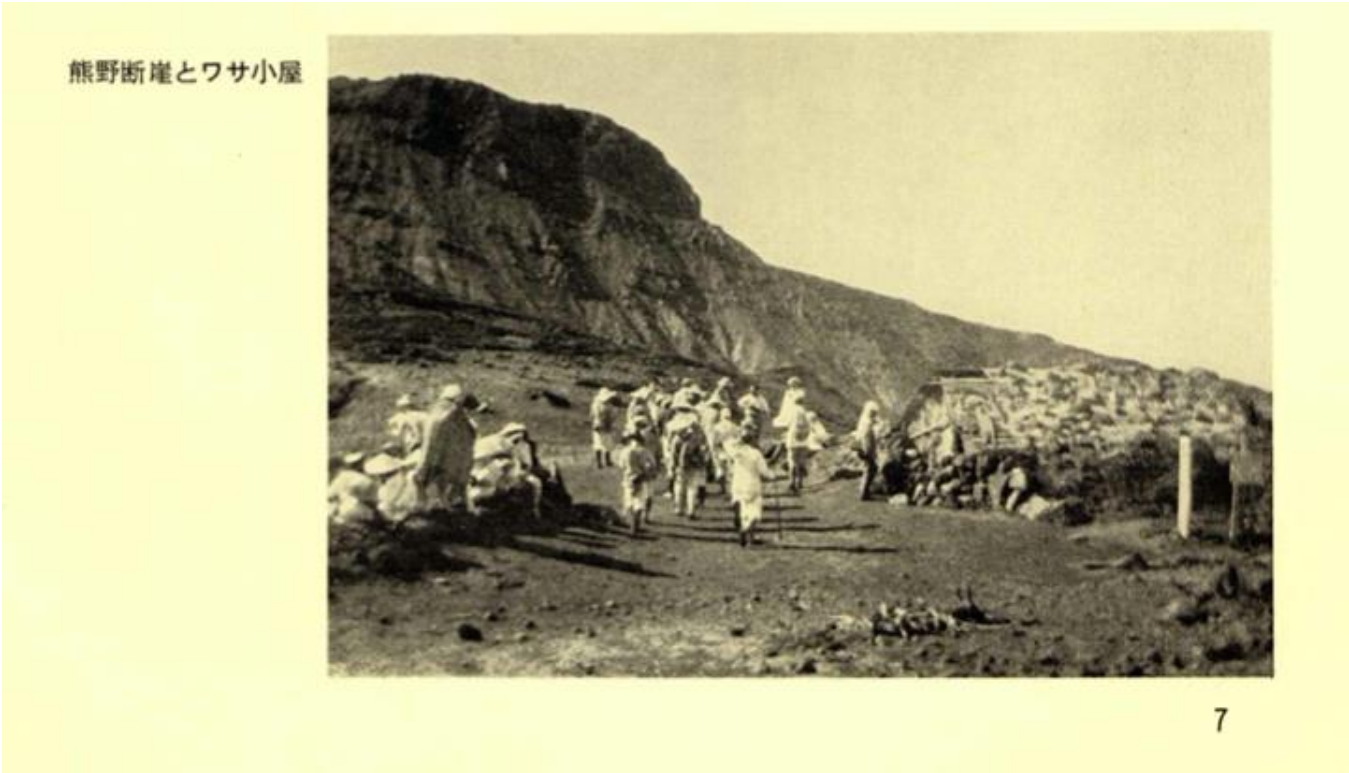


図６　「蔵王の樹氷」　蔵王の碑建設協賛者　熊野断崖とワサ小屋

図７　「蔵王の樹氷」　蔵王の碑建設協賛者　ワサ小屋の井上老婆

プレス通知資料（概 要）

令和６年(2024 年) ２月１日
山　　形　　大　　学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

１．山形大学オープンキャンパス 2024 の開催について

山形大学オープンキャンパス 2024 の開催予定日が決定しました。
開催日・キャンパス：７月 27 日（土）人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部　　小白川キャンパス
７月 27 日（土）医学部　　飯田キャンパス
８月　３日（土）工学部　　米沢キャンパス
７月 27 日（土）農学部　　鶴岡キャンパス
詳細・申込：決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」でお知らせします。
「やまがた大学ナビ！」では、常時、オンデマンド配信しているコンテンツもありますので、ぜひご覧ください。

２．山形大学アグリフードシステム先端研究センター研究成果報告会＆農学部第２回研究シーズ説明会の開催について

第１部の YAAS 研究成果報告会では福田　真嗣氏（慶應義塾大学先端生命科学研究所特任教授　株式会社メタジェン代表取締役社長 CEO）による基調講演、第２部の農学部第２回研究シーズ説明会では五領田小百合助教による研究発表等を行います。
日時：３月６日（水）１４：３０～１７：００
会場：東京第一ホテル鶴岡　鳳凰の間（１階）
申込方法：チラシ QR コードよりお申込ください。（申込締切：２月２２日（木））

３．山響メンバーによる「弦楽四重奏の夕べ」を開催します

山形大学地域教育文化学部では、2017 年度から山形交響楽団との連携による地域創生事業として、公開講座を開催してきました。今回は、山響メンバーによる「弦楽四重奏の夕べ」を開催します。
日時：２月２９日（木）１９：００開演
会場：山形大学文化ホール（小白川キャンパス）
入場料：無料（事前申し込みは不要）

４．「文系のためのビジネス統計入門」の開催について

「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぷらす」を開講します。
本講座は、専門用語や数式表記で使われるギリシャ文字などは出来るだけ使わず、数学が苦手な方にも統計データの活かし方を学んでもらうことを目的としています。
日時：２月１５日（木）１８：３０～２０：１０（第１回）
２月２２日（木）１８：３０～２０：１０（第２回）
２月２９日（木）１８：３０～２０：１０（第３回）
※Zoom を利用したリアルタイム配信（見逃し配信あり）。
受講料金：5,000 円（全３回分）（別途、決済手数料 275 円が必要です）
申込方法：チラシ QR コードよりお申込ください。（申込締切：２月９日（金）AM８：３０）

５．やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、高校生・学生・一般の方を対象とした講座「やまがた夜話」を開催します。山形大学学術研究院野々村美宗教授（大学院理工学研究科担当）らを講師とし、「放送大学山形学習センター教養講座」として３回開催いたします。
日時：２月２８日（水）１８：００～１９：００
３月　９日（土）１４：００～１５：００
３月１３日（水）１８：００～１９：００
会場：放送大学山形学習センター講義室（霞城セントラル１０階）
申込方法：チラシ裏面の参加申込書に、必要事項をご記入の上、メール、郵送、FAX でお申込ください。

６．山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

各キャンパス並びに各附属学校園において挙行する学位記授与式等についてご案内します。取材の際は、式典の円滑な進行にご協力くださいますようお願いします。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月1日

山形大学オープンキャンパス2024の開催について

【本件のポイント】

●山形大学オープンキャンパス2024の開催予定日が決定しました。
●2024年度のオープンキャンパスは、対面かつ人数制限を設けず開催することを予定しています。
●一部キャンパス・プログラムについては人数制限を設ける、または事前参加登録が必要となる場合があります。

【概要】

山形大学オープンキャンパス 2024 の開催予定日を決定しましたのでお知らせします。2024 年度のオープンキャンパスは、対面かつ人数制限を設けず開催することを予定しています。
ただし一部のキャンパスやプログラムについては、運営上の理由から人数制限を設ける、または事前申込制によって実施する場合があります。
時間・内容等の詳細や申込方法については、決定次第、本学の受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」のオープンキャンパスページでお知らせします。
過去には学部学科説明や模擬講義、キャンパスツアー、在学生との交流会、研究室見学、保護者向け説明会等、様々な内容のイベントを実施しています。

【山形大学オープンキャンパス 2024】

●開催日・キャンパス

人文社会科学部	7 月 27 日（土）	小白川キャンパス
地域教育文化学部	7 月 27 日（土）	小白川キャンパス
理学部	7 月 27 日（土）	小白川キャンパス
医学部	7 月 27 日（土）	飯田キャンパス
工学部	8 月 3 日（土）	米沢キャンパス
農学部	7 月 27 日（土）	鶴岡キャンパス

●詳細・申込
決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」でお知らせします。
https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/oc/

受験生のための山形大学ナビゲーションサイト
やまがた大学ナビ！

「やまがた大学ナビ！」では、常時、オンデマンド配信しているコンテンツもありますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ
エンロールメント・マネジメント部入試課
TEL　023-628-4062・4063
メール　yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学
アグリフードシステム
先端研究センター 研究成果報告会

同時開催

農学部 第2回
研究シーズ説明会

2024 3.6 Wed. 14:30~17:00

会場／東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間（1階）

YAAS

【第１部】YAAS研究成果報告会

1. 開会挨拶・センター紹介
   山形大学農学部長・センター長・教授　村山　秀樹
2. 基調講演
   「腸内細菌叢＝あなたの体質?! 最新“腸”科学が明らかにする個人差と腸内環境の関係性」
   慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任教授
   株式会社メタジェン 代表取締役社長 CEO　福田　真嗣 氏
3. 研究発表
   「ビストロ下水道の最新知見：皆で地域循環共生圏を作ろう」
   山形大学農学部副学部長・副センター長・教授　渡部　徹
4. ポスター発表

【第２部】農学部研究シーズ説明会

1. 研究発表「鮭でつなぐ現在（いま）と健幸（みらい）」
   山形大学農学部 助教　五領田　小百合
2. 農学部との共同研究・受託研究・学術指導について
   山形大学産学連携研究員・コーディネーター　高橋　政幸

参加申込みはこちら

申込締切：2024年2月22日(木)

YAAS HP：https//yaas.jp/

お問い合せ／山形大学鶴岡キャンパス事務部YAAS担当　TEL 0235-28-2834

山形大学 YAAS 研究成果報告会・農学部 研究シーズ説明会
プログラム

第１部　YAAS研究成果報告会

14：30　開会挨拶・センター紹介

山形大学農学部長・センター長・教授　村山　秀樹

14：35　基調講演　「腸内細菌叢＝あなたの体質?!
最新“腸”科学が明らかにする個人差と腸内環境の関係性」

慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任教授
株式会社メタジェン 代表取締役社長 CEO　福田　真嗣 氏

15：05　研究発表　「ビストロ下水道の最新知見：皆で地域循環共生圏を作ろう」

山形大学農学部副学部長・副センター長・教授　渡部　徹

15：35　ポスター発表

- 池田　和生　准教授
- 市浦　茂　助教
- 浦川　修司　教授
- 片平　光彦　教授
- 小林　翔　准教授
- 佐藤　智　准教授
- 程　為国　教授
- 中坪　あゆみ　助教
- 星野　友紀　准教授
- 村山　秀樹　教授
- 矢野　裕子　工学部 助教
- 岡本　茜　大学院生（工学部 西岡研究室）
- 三上　卓郎　大学院生（工学部 西岡研究室）

※五十音順

16：05　休　憩（10分）

第２部　農学部研究シーズ説明会

16：15　研究発表　「鮭でつなぐ現在（いま）と健幸（みらい）」

山形大学農学部 助教　五領田　小百合

16：45　農学部との共同研究・受託研究・学術指導について

山形大学産学連携研究員・コーディネーター　高橋　政幸

16：55　閉会挨拶

山形大学農学部副学部長・副センター長・教授　渡部　徹

◆『研究シーズ集』最新版

農学部HP：https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/seeds.html

◆農学部地域産学官連携協議会 HP

https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/sangakukan/sangakukan.html

YAAS
YAMAGATA UNIVERSITY
ADVANCED AGRI-FOOD SYSTEM
RESEARCH CENTER

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和６年（2024年）２月１日

山響メンバーによる「弦楽四重奏の夕べ」を開催します

【本件のポイント】

●山響メンバーによる「弦楽四重奏の夕べ」

●2017年度から実施している地域創生事業であり、今回で12回目

●国内で活躍するプロの音楽家の演奏を間近で感じることのできる絶好の機会

令和5年　弦楽四重奏の夕べ

【概要】

山形大学地域教育文化学部では、2017 年度より山形交響楽団との連携による地域創生事業として、公開講座を開催してきました。
今回は、山響メンバーによる「弦楽四重奏の夕べ」を開催します。
学生たちにとっては、国内で活躍するプロの音楽家の演奏に触れられる絶好の機会です。地域の皆さま方とこの貴重な時間を共有するために、演奏会を公開します。

【開催情報】

日　時　　令和６年２月２９日（木）１９：００開演
会　場　　山形大学 文化ホール（小白川キャンパス）
入場料　　無料（事前申し込みは不要）
※後日オンデマンド配信の予定

出演者　　犬伏亜里（Vn）　堀越瑞生（Vn）　成田寛（Va）　渡邊研多郎（Vc）
プログラム　モーツァルト：弦楽四重奏曲　第 19 番　ハ長調「不協和音」K. 465
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲　第９番　ハ長調「ラズモフスキー第３番」作品 59 - 3

＜参考＞　過去の公開レッスン開催日／講師
令和元年　７月２１日／オペラ指揮者　阪 哲朗 氏
令和元年１１月１９日／チェリスト・指揮者　鈴木 秀美 氏
令和３年１１月１５日／ピアニスト　舘野 泉 氏
令和５年　３月　９日／弦楽四重奏の夕べ（山形交響楽団）

お越しの際は、公共交通機関をご利用願います。
自家用車用の駐車場には限りがございます、満車の際は
小白川キャンパス周辺のコインパーキング（有料）をご利用願います。

お問い合わせ
学術研究院（地域教育文化学部主担当）　渡辺　修身
TEL　023-628-4336　メール sammy@e.yamagata-u.ac.jp

山形大学 Yamagata University　YEX Yamagata University Extension service organization

受講生募集中!!

エクステンションぷらす開講!!

まだまだ学び足りない大人達へ、山形大学が贈る新たなカタチの社会人向け講座

「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぷらす」を開講します。日々の仕事や生活に役立つ講座をオンラインで配信。全3回（計5時間）で構成され、時間をかけてしっかりと、そして深く学ぶことができます。家で過ごすことが多くなる冬の季節。自宅にいながら気軽に大学レベルの学びを受けてみませんか？みなさまの受講を心よりお待ちしております。

文系のためのビジネス統計入門

4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

【開講日時】

〈第1回〉2月15日（木）18:30~20:10
〈第2回〉2月22日（木）18:30~20:10
〈第3回〉2月29日（木）18:30~20:10

※「Zoom」を使用したリアルタイム配信（見逃し配信あり）。

【受講料金】5,000円（全3回分）（別途、決済手数料 275円が必要です）

数学が苦手でも統計の知識を身につける

統計学を学ぼうとしている方の中で、「数学は苦手なのだけれど、必要性にかられて仕方なく」という方は多いと思います。統計学の専門書を読み、内容を一通り理解するには、時間と根気を要します。統計学の理解には、まずは統計学における各手法の使い方を知り、実際に利用出来るようになることが近道です。
本講座は，専門用語や数式表記で使われるギリシャ文字などは出来るだけ使わず、数学が苦手な方にも統計データの活かし方を学んでもらうことを目的とします。

ここがポイント
1. 数学が苦手な人でも統計学を理解できる。
2. 統計データの実務への活かし方がわかる。
3. エクセルで出来る分析スキルを身につけられる。

【各講座内容】

〈第1回〉データの特徴を把握しよう（標準偏差など）
〈第2回〉予測をして戦略に活かそう（回帰分析など）
〈第3回〉統計手法を商品開発に活かそう（コンジョイント分析など）

講師／兼子良久（山形大学人文社会科学部准教授 専門 マーケティング）

著書に「文系でもわかるビジネス統計入門」（東洋経済新報社）、「Ｅｘｃｅｌ対応　９０分でわかる！　日本で一番やさしい「データ分析」超入門」（東洋経済新報社）など。

全3回（計5時間）

■全国どこからでも受講可能な授業形式（完全オンライン）

約1カ月間に計5時間の講義を全てオンラインで行います（見逃し配信あり）。移動は不要で自宅や職場からアクセスできますので、全国どこからでも受講することができます。

申込方法

下記のURLもしくは右記QRコードから、パソコン・スマートフォンで申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払い方法や、受講方法などをご確認の後、専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
【申込締切：2月9日（金）AM8：30】
https://www.y-ex.jp/extension/post-72.html

お問い合わせ

山形大学
エクステンションサービス推進本部
TEL. 023 - 628 - 4779
yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
https://www.y-ex.jp/

YAMAGATA YA WA

入場無料

やまがた夜話

放送大学山形学習センター教養講座

放送大学

2月28日（水）18:00～19:00

「化粧品の化学」

■講師：野々村　美宗　氏（山形大学学術研究院教授（大学院理工学研究科担当））

ドラックストアに並んだ化粧品を見て、「いったいどれが良いのかな？」「そもそも、本当に効くのかな？？？」なんて思ったことはありませんか？化粧品には、皮膚科学・材料科学の最先端の知識に基づいて開発された何十もの成分が含まれており、きちんと効果が現れるように設計がされています。今回は「保湿」を例にコスメの化学を紹介します。

3月9日（土）14:00～15:00

「山形県の地名歌枕」

■講師：藤田　洋治　氏（放送大学客員教授（元山形大学学術研究院教授））

最上川や阿古屋の松、有耶無耶の関など、山形県にちなむ歌枕について考えてみます。歌枕という言葉の定義も揺らいでいますし、一つの場所に特定しなければならないのに二カ所もあって、どちらが正しいのか、などという点も含め、さらに『枕草子』に見える「忘れずの山」は蔵王山でいいのか、多面的に把えていこうと思います。

3月13日（水）18:00～19:00

「睡眠を考える～より良い睡眠を得るために～ 」

■講師：佐藤　寿晃　氏（放送大学客員教授（山形県立保健医療大学教授））

現代生活はシフトワークや長時間通勤・受験勉強・インターネットやゲームをしての夜型生活など、睡眠不足や睡眠障害の危険で一杯です。そこで今回、「睡眠を考える～より良い睡眠を得るために～」と題して、＜睡眠と現代社会＞、＜より良い睡眠を得るために＞をキーワードとして、皆さんと睡眠について考えていきます。

会　場　放送大学山形学習センター講義室（霞城セントラル10階）

対　象　高校生・学生・一般市民　　**定　員**　40名【対面のみの開催】

お申込み　裏面の参加申込書に、必要事項をご記入の上、メール、郵送、 Faxでお申し込みください。

アクセス　山形駅の東西自由通路を西口に向かい徒歩５分

〈主催〉

大学コンソーシアムやまがた

〈企画〉

放送大学山形学習センター

〈お申込み・お問合せ先〉

大学コンソーシアムやまがた事務局
〒990-0041　山形市緑町1-2-36　遊学館2階
TEL：023-628-4842　FAX：023-628-4820
E-mail： yu-unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FAX：023-628-4820
大学コンソーシアムやまがた事務局行き

「やまがた夜話に参加申込みをします。」

◆必要事項をご記入の上、メール、郵送、Faxでお申し込みください。

◆申込締切日：それぞれの夜話の前週土曜日まで

参加日	参加希望日の参加方法に、☑をつけてください。 ☐　令和６年２月28日（水）18：00～19：00 ☐　令和６年３月 ９日（土）14：00～15：00 ☐　令和６年３月13日（水）18：00～19：00
住　所	〒
氏　名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	（※必須ではありません。）

・受講申込者が会場定員（40名）に達した場合は、入場をお断りさせていただきます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、講座を受講するために必要な事務連絡、参加者名簿等に使用すると共に、今後の講座開催時のご案内に使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた事務局
〒 990-0041　山形市緑町1-2-36　遊学館2階
TEL：023-628-4842　FAX：023-628-4820
E-mail： yu-unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月1日

山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

【本件のポイント】

- 各会場では、係員の指示に従っていただき、式典の円滑な進行にご協力をお願いいたします。
- 学長告辞については当日に配付いたしますが、式終了後に公表願います。
- 事前の取材申し込みは不要です（医学部・医学系研究科の会場を除く）。

【概要】

令和５年度学位記・修了証書授与式等を各キャンパス並びに各附属学校園において、下記のとおり挙行いたします。式当日の取材に際しては、各会場における留意事項を遵守の上、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。
また、学長告辞については当日に配付いたしますが、式終了後に公表願います。

●人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部・養護教諭特別別科・社会文化創造研究科・理工学研究科（理学系）・教育実践研究科
日　時：令和６年３月25日（月）１１：００開式
会　場：やまぎん県民ホール（山形市）

●医学部・医学系研究科
日　時：令和６年３月25日（月）１４：００開式
会　場：ホテルメトロポリタン山形（山形市）

●工学部・理工学研究科（工学系）・有機材料システム研究科
日　時：令和６年３月20日（水）１１：００開式
会　場：米沢市営体育館（米沢市）

●農学部・農学研究科
日　時：令和６年３月１７日（日）１１：００開式
会　場：東京第一ホテル鶴岡（鶴岡市）

【附属学校園】
●附属幼稚園
日　時：令和６年３月15日（金）９：４５開式
会　場：附属幼稚園遊戯室
●附属小学校
日　時：令和６年３月19日（火）９：００開式
会　場：附属小学校体育館
●附属中学校
日　時：令和６年３月14日（木）９：００開式
会　場：附属中学校体育館
●附属特別支援学校
日　時：令和６年３月16日（土）９：３０開式
会　場：附属特別支援学校体育館

お問い合わせ
総務部総務課 TEL　023-628-4006、4004